

平成 17 年 2 月 15 日

NPO 法人西日本自然系博物館ネットワーク
加盟館および会員各位

NPO 法人西日本自然史系博物館ネットワーク
理事長 山西良平

「第 3 回自然史系博物館における標本情報の発信に関する研究会」の開催について（案内）

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。当 NPO 法人の事業につきましては、種々
ご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当 NPO 法人では自然系博物館における標本および各種資料の情報発信を行うための研
究会を下記のとおり開催いたします。この会におきましては、標本情報データベースの国際規格
への対応（GBIF）や博物館間の横断検索、情報発信に伴う諸課題について、各博物館の実務担
当者を中心として議論ならびに情報交換したいと考えております。今回は実際にパソコンを使っ
た実習も含めて、収蔵品の横断検索システム、データ整形ソフトのデモを行います。詳しい内容
は別紙をご覧ください。ご多用の所恐縮ですが、お繰り合わせの上ご参加下さい
ますようお願い申し上げます。

敬具

記

日時 平成 18 年 3 月 13 日（月）午後 1 時～5 時迄
場所 国立科学博物館新宿分館 講堂
主催 NPO 法人西日本自然系博物館ネットワーク・国立科学博物館
話題提供 前回までのおさらいと司会 兵庫県立人と自然の博物館 三橋弘宗
標本データベースの整備と発信：徳島県立博物館の場合
徳島県立博物館 小川誠氏
標本データベースの整備状況：横須賀市立博物館
横須賀市自然・人文博物館 萩原清司氏
科学系博物館情報ネットワーク推進事業の進捗状況：日本語自然史標本検索
システム・データ整形ソフトのデモンストレーション
国立科学博物館 井上透氏

ワークショップ

収蔵品データの公開に伴う課題とその解決策に関するワークショップ
～収蔵品データベースの整形に関する実操作と課題等の検討～

以上

- ・参加を希望される方は、3/5 迄に以下にメールにてご連絡下さい。
（連絡頂いた後に 3 日以内に確認のメールを出します。返信が来ない方は、何らか
の送受信ミス可能性がありますので、お手数ですが再送ください。）
- ・旅費については当 NPO から支給致しますので希望される方はご連絡下さい
- ・出張依頼文書が必要な方は事前にご連絡ください

【この件に関する紹介先】

兵庫県立人と自然の博物館 担当：三橋
E-mail:hiromune@hi tohaku.jp
〒669-1544 三田市弥生が丘 6 丁目
tel.079-559-2001 fax.079-559-2007

第3回 自然史系博物館における標本情報の発信に関する研究会**収蔵品データの公開に伴う課題とその解決策に関するワークショップ**

～収蔵品データベースの整形に関する実演・実習と課題等の検討～

日時：2006年3月13日（月）13時～17時

場所：国立科学博物館新宿分室 講堂

趣旨：

生物多様性の科学的な理解を推進するために、国際的な生物標本に関するデータベースの構築（GBIF）をはじめ、国内では国立科学博物館による全国の科学系博物館の標本情報整備とネットワークが実施あるいは検討されはじめています。情報の発信に関しては、専門的な情報処理技術が求められると同時に、フォーマットの統一、位置情報の整備、情報自体の精度管理などが課題と考えられています。しかし、これらの課題の解決策は博物館スタッフの間で共有化されていません。また、今年度から実施される科学系博物館情報ネットワーク推進事業（国立科学博物館）では、全国の博物館の有する標本情報等を横断的に検索できる仕組みづくりが検討されており、各館がこの仕組みに参加するために必要な条件等を早急に検討する必要があります。

この研究会では、情報発信に伴う課題解決の手法やGBIFをはじめとする国内外でのプロジェクト紹介、博物館同士のネットワーク、活用事例などについての情報交換や議論を行い、情報発信の促進と学芸員の技術向上を目指します。全国各地の博物館が有する収蔵品情報をネットワーク化して、横断検索する仕組みについて議論できればと思います。第1回の研究会では、各館の担当者21名が参加し、様々な意見が挙がりました。第2回目は、関東地方の博物館職員にも参加頂き、様々な課題に対する解決策をワークショップ方式で議論しました。第3回（今回）は、これらの議論を踏まえて「収蔵品の横断検索システム」ならびに「収蔵品データの整形ソフト」を作成し、実際の動作を確認しながら、よりよい物へと発展させるための課題解決型ワークショップを開催したいと思います。

1. 話題提供**前回までのおさらいと司会**

兵庫県立人と自然の博物館 三橋弘宗氏

標本データベースの構築と情報発信：徳島県博の場合

徳島県立博物館 小川誠氏

標本データベースの構築：横須賀市立博物館の場合

横須賀市立博物館 萩原清司氏

科学系博物館情報ネットワーク推進事業の進捗状況：日本語自然史標本検索システム・データ整形ソフトのデモンストレーションについて

国立科学博物館 井上透氏

2. ワークショップ

テーマ：収蔵品データベースの整形に関する実操作と課題等の検討

- ・既存収蔵品データベースを、自動整形ソフトを使って編集（富士通）
- ・フリーソフトを使って位置情報を取得し分布図を作成する方法（三橋）

グループごとにパソコンを1台づつ用意し、上記の内容についてワークショップ形式で議論いたします。当日は、今回開発を進めているシステムのデモを行うと同時に、各自でも実際に操作して頂きます。これらの作業をもとに、収蔵品データベースの整備または公開するにあたっての様々な課題整理と解決策の検討を行いたいと考えております。これらのワークショップで得られた成果につきましては、今回の開発システムへと反映させたいと考えております。

以上

【この件に関する紹介先】

兵庫県立人と自然の博物館 担当：三橋

E-mail:hiromune@hitohaku.jp

〒669-1544 三田市弥生が丘6丁目

tel.079-559-2001 fax.079-559-2007